

広報

のほへつ

●No. 462 ●平成元年 4月1日発行



はまなす国体の成功を願って3月16日、市民ランナーによる炬火リレーや北の賛歌コンサートが開かれました。

これは、「国体 200日前イベント」として国体成功市民の会と市が企画したもので、炬火リレーでは地獄谷（写真）と新日鉄室蘭の高炉から採った火を掲げ、約 130人の市民がランナーとして参加、市内を駆けぬけました。また、市民会館では、北の賛歌コンサートとして女性コーラスや少年少女合唱団のコンサート、「伊奈かつべいふるさと講演会」が行われ、間近かに迫った国体を盛り上げようと市民パワーが結集されました。

'89
4.1



市政執行方針を発表する上野市長
(3月7日平成元年度第1回定例市議会)

基本的な考え方

私は、まちづくりの原点は、市民一人ひとりの心がひとつになることにあるとの認識から、市民総参加によるまちづくりの具体的な役割を果たすため、多くの皆さんとの対話をすすめて参りました。

今後とも、「市民の心をひとつにしたまちづくり」を基本理念に市民党の立場を堅持し市政に取り組んで参ります。次に「市民のための明るい市政の確立」について申し上げます。

三月七日から開会された第一回定例市議会で、上野市長は、平成元年度の市政運営の基本方針と施策の概要を発表しました。

引き続き低迷する地方経済と厳しい財政環境の中、地域の活性化を第一義とする考え方が示されるとともに、本年は、新たな世紀に向っての基礎づくりの年と位置づけられました。

以下、市政執行方針の概要についてお知らせします。

はじめに・所信

昨年八月、私が市長に就任してから早くも、六ヶ月余に参りました。

いま、始めての予算編成を終えて、実質的なスタートラインに立ち、改めて、課せられた責務の重さに身の引き締まる思いをし、決意を新たにしております。

本年は「昭和」という六十有余年におよぶ長い激動の時代が幕を閉じ、新たな世紀へ向って、旅立つ年であり、この緑豊かなふるさとを

を、より確かなものとして、次の世代に引き継ぐため、私たちは、いまこそ、その基礎づくりを着実にすすめていかなければなりません。

幸いこのまちには、ふるさとを思う市民の皆さんの気持の高まりが、大きなエネルギーとして存在しております。

私は、市民の皆さんのこのふるさとを思う心の高まりこそが、明日の登別を切り拓いてゆく原動力であり、かつまた、市政に対する百万の味方と確信し、市政執行に全力を尽して参ります。

り

市政が常に開かれていること、市がいまどのような状態におかれているか、いま何をなすべきなのか、市民の皆さんに明らかにすることこそ、明るく開かれた市政の前提であるかと思えます。今回お示した「財政白書」により、効果的なまちづくりの論議がより深まっていくことを期待しております。

明るく開かれた市政をすすめるためには、「まちづくりの総合センター」たる市役所の活性化が重要であります。職員との対話をすすめる中

で、職員が、自信と誇りを持って職務に精励できる職場環境をつくることに努めるとともに、職員研修の強化を図り、職員が、常に社会情勢の変化を敏感に察知し、時代の変化や市民ニーズに即応できる能力の開発に努めております。

また、道との人事交流や関係機関、市民グループとの交流により、広く外部の情報や知識を吸収することにより職員の資質の向上を図って参りました。

行政機構の見直しにつきましては、市内にプロジェクトチームを編成し、より柔軟で効果的な組織のあり方を広く検討し、この程成案を得ましたので、本年四月から実施に移したいと考えております。

申すまでもなく、まちづくりは、ひとり市役所のみでの力ですすめられるものではありません。市民の皆さんの積極的な参加と協力があってこそなし得るものであり、市民の皆さん自らの発想と旺盛な意欲、力強い実践が大切であると考えます。

当面する課題

◎地場産業の振興と人づくり
地域の活性化を図るためには、まず、活力に満ちたたくましい産業の育成とともに、これに従事し、かつ、まちづくりを担う人づくりが必要で

幹産業である観光の振興を図ってまいります。

観光は、雇用の場が広く、地域の一次産業から三次産業まで幅広い分野にわたり、その効果を及ぼすことのできる裾野の広い産業であります。

全市民的な広がりの中で、恵まれた自然資源を活用し、幅広い深みのある機能を備えるとともに、市民一人ひとりが直接、あるいは、友人、知人を勧誘したりボランティアガイドなど間接的に観光産業に携わり、訪れる観光客との交流の中でホスピタリティを高めていくことが肝要と考えます。

このため、中長期の視点に立って本市の観光のあり方を示す観光基本計画樹立のため検討をすすめて参ります。

さらに、登別ビーチパークと伊達時代村については、いよいよ着工の運びとなり、その円滑な推進に努めて参ります。

農業及び水産業は、いまだ大きな転換期にあります。地域の特性に適合した作目あるいは魚種を選択し、生産性の向上とコストの軽減に努め、付加価値の高い商品の生産を図らなければなりません。

農水産業にとっても、二百万人を越える観光客との結びつきは、市場直結の有利性を保持つとていえます。

次に商工業の振興であり、魅力ある商店街の形成を図るため、商店街近代化の具体策の樹立とその推進に積極的に協力していきたいと思いま

す。

また、市民の皆さんの理解と協力を求め、地元活用運動を積極的に推進して参ります。たくましい産業を育て発展させるためには、時代を先取りする優れた経営感覚と商品開発、常に斬新な知識と技術を学びこれを活用できる人材の育成が肝要です。

このため、商工会議所の事業活動を助成するとともに、室蘭テクノセンターや技術交換プラザの活用、技能訓練などの事業を積極的にすすめます。

また、まちづくりの自主的な市民活動を助長するため、職域団体や青年団活動におけるまちづくりへの取り組み強化を図るとともに、各グループの交流やイベントの取り組みについて支援して参ります。

◎財政の健全化について
当市の財政は、地域経済の低迷が続く、市税が伸び悩む中で、その健全化への努力にもかかわらず、依然逼迫した状況にあります。

このため、財政の実態を市民の皆さんに正しく認識していただき、企業誘致や地場産業の振興による税源の涵養と受益者負担の適正化による収入の安定的確保を図るとともに行政範囲の見直し、公共施設管理の適正化、事業事務の民間委託の推進など行政改革を不断に行って財政の健全化に努めて参ります。

◎はまなす国体の取り組みについて
当市でのパドミントン競技

市長市政執行方針 新たな世紀への基礎づく

大会も目前に迫って参りました。是非とも成功させなければならぬ大会と考えます。市民の皆さんにも、いろいろな分野で参加いただき「手づくり団体」として、登別ならではの温かさと思いやりの心で歓迎し、ふれあいを深め

本年度の主な施策について

まず、「たくましい産業の育成」についてであります。登別ビーチパークについては、北海道マリナーパークが行う特許事業の着手にあわせて、前庭部分を都市公園事業として整備をすすめて参ります。

あわせて、観光施設にふさわしい街並みや環境の整備を図っていくため、石山通り、東町四十三号線の道路改良と東町三十六号線のコミュニティ道路事業をすすめます。

また、伊達時代村の着工に関連して、この施設への進入路である中登別十号線の道路改良事業を継続実施します。

農業対策としては、市営牧場が供用開始しますのでこの管理を農業協同組合に委託し、その活用を努めてまいります。また、札内地区農道の整備を行うため、新たに調査を行います。

漁業対策では、登別漁港や用地護岸改修事業を推進し、漁業協同組合が行う稚魚移植放流事業や地域沿岸漁業構造改善事業への助成など漁業基盤の充実を図り漁家経営の安定に努めて参ります。中小企業対策といたしまし

実り多い大会にしたいと思っております。そして、この大会で盛り上がる市民のエネルギーがまちづくりへの力としてつながってゆくことを期待するものであります。

では、地区商業者の間に、商店街近代化の気運が高まっておりますので「商店街近代化推進調査結果」を踏まえ、自主的な実施計画の樹立について指導・助言するとともに、その実現のため積極的に協力して参ります。

観光対策につきましては、登別温泉地域総合整備事業を継続実施して参ります。また、中長期的視点に立って、全市民的な観光のあり方について検討して参ります。

労働対策では、一昨年から雇用対策審議会で審議をいただいております雇用対策問題については、早期に結論を得て行政に反映して参ります。

次に「豊かな人材の育成とスポーツ・文化の振興」についてであります。

教育委員会に生涯教育推進室を新設し生涯学習のあり方や推進体制について調査、研究とその企画実践に取り組んで参ります。

学校教育については、登別小学校舎の大規模改修に着手するほか、小・中学校施設及び学校給食センターの補修など施設の適切な維持管理に努

めます。私立幼稚園園奨励特別補助制度は本年度従前通りとし明年度以降のあり方を検討します。

昭和五十九年に発見された「登別化石林」については、一部を樹脂加工し、郷土資料館に永久保存することとしました。

総合体育館の床を大改修し体育館としての機能の整備を行うとともに、従前から強い要望のあった学校体育施設の開放事業については、その開放日数を延長いたします。次に「うるおいと思いやりのあるまちづくり」についてであります。

ノーマライゼーションに努めている市民意識の高揚に努めるとともに、市民団体のボランティア活動の助長を図ってまいります。

また、ひとり暮らしや寝たきり老人に対する通報システムとの整備を引き続き実施するとともに新たに在宅の寝たきり老人を対象に入浴サービス事業を実施します。

緑ヶ丘団地に建替える市営住宅に、老人世帯向住宅四戸を付設します。

また、市民自らの健康づくりを目的としたヘルスパイオニアタウン事業を継続して実施するとともに、市内幼稚園、保育所の幼児を対象として、フッ素塗布と洗口を行う幼児歯科保健対策事業を実施します。

富浦地区の活動拠点として富浦地区コミュニティセンターを建設します。

交通安全対策としては、中央通り歩道舗装事業及び警別三十号線歩道舗装事業を実施するほか、防護柵、道路反射鏡の設置を行います。

また、市民総参加のもとで、関係機関との連携を図りながら暴力追放、防犯運動を展開して参ります。

次に都市環境の整備につきまして、西通りの立体交差事業、本町東通りの整備促進登別地区円山通りの整備を実施いたします。

また、下水道事業の一環として、降雨時の浸水を解消するため、千歳・中央町地区の雨水排水事業に着手いたします。

また、市内各地区で市民に親しまれている児童公園をはじめ小公園については、その一部については、町内会に清掃草刈りなどの管理を委託することとしました。富岸・若草地区のテレビ難視聴の解消を図るため放送チャンネルの確保を図って、テレビジョン中継局の設置をすすめて参ります。町名標示板について、本年度より年次計画をもって更新して参ります。

このほか、消費税の導入に伴い水道使用料金、し尿処理手数料など市の公共料金の一部に消費税相当額を加算する措置を講じました。また、ふるさと創生事業につきましては、広く市民の皆さんのご提言をいただいで実施して参りたいと考えております。

以上、市政に対する所信を申し上げ、皆さんのご協力とご理解をお願い申し上げます。

新年度から 変ります

市役所機構の一部

より簡素で効率的な行政を進めるため、市役所では新年度から機構の一部を改正しました。

以下、その主なものについてお知らせします。

▼名称変更 「民生部」が「生活福祉部」となりました。

▼新設 重要施策、今後の課題に取り組むため新たに次の部内室を設置しました。

○総務部企画調整室 ○観光経済部観光室 ○同経済対策室 ○教育委員会生涯教育推進室

▼窓口の一本化 市民サービスの向上を目的に次の業務を市民課へ集約しました。

○交通安全、公害に関する事務（交通公害係） ○町内会、市民相談、消費生活に関する事務（市民生活係）

▼医療関係の事務を集約するため国民健康保険係を保健衛生課に移管しました。

▼より簡素な機構とするため次の課を統合しました。

○課税課と納税課を統合し税務課としました。

○商工課と労政課を統合し商工労政課としました。

▼移管 建設部下水道課を水道部に移管しました。

3月7日から開会された平成元年第1回市議会定例会で、平成元年度予算が可決、成立しました。

平成元年度予算は、一般会計が142億7千6百万円、特別会計・水道事業会計を含めた総額248億140万円となり、63年度当初予算と比べると7%増の積極型予算。

内容は、「地域の活性化」「生活環境の整備」「明るいまちづくり」を重点に編成されており、今後一年間のまちづくりに向けて4月からスタートします。

平成元年度登別市各会計予算総括表

(単位千円、△はマイナス)

会計区分	平成元年度 予算	昭和63年度 予算	比較増減	伸び率 (%)
一般会計	14,276,000	13,345,000	931,000	7.0
国民健康保険	3,204,500	3,326,800	△122,300	△3.7
観光事業	92,100	82,900	9,200	11.1
学校給食	395,900	399,000	△3,100	△0.8
公共下水道	1,873,500	1,468,000	405,500	27.6
老人保険	3,864,400	3,186,700	677,700	21.3
区画整理	330,000	600,000	△270,000	△45.0
水道事業会計	765,000	774,500	△9,500	△1.2
総計	24,801,400	23,182,900	1,618,500	7.0

登別市平成元年度一般会計予算

(単位千円、△はマイナス)

款	平成元年度 予算	昭和63年度 予算	増減	伸び率 (%)
市税	3,973,245	4,102,091	△128,846	△3.1
地方譲与税	265,100	131,910	133,190	101.0
利子割交付金	80,350	30,426	49,924	164.1
ゴルフ場利用金	12,320	0	12,320	皆増
自動車取得税金	81,218	78,101	3,117	4.0
国有提供施設村金	571	571	0	—
地方交付税	3,405,000	3,142,000	263,000	8.4
交通安全対策金	12,000	13,000	△1,000	△7.7
分損金および負担	45,334	53,109	△7,775	△14.6
使用料および手数料	629,239	587,066	42,173	7.2
国庫支出金	2,134,348	1,970,946	163,402	8.3
道支出金	662,731	743,143	△80,412	△10.8
財産収入	34,561	182,946	△148,385	△81.1
寄附金	7,520	5,520	2,000	36.2
繰入金	916,206	687,800	228,406	33.2
繰越金	10,000	35,000	△25,000	△71.4
諸収入	1,052,207	1,042,071	10,136	1.0
市債	954,050	537,300	416,750	77.6
事業施設利用金		2,000	△2,000	皆減
歳入合計	14,276,000	13,345,000	931,000	7.0

<歳出>

款	平成元年度 予算	昭和63年度 予算	増減	伸び率 (%)
議会費	150,328	146,331	3,997	2.7
総務費	1,165,954	975,593	190,361	19.5
民生費	3,386,795	3,412,183	△25,388	△0.7
衛生費	307,121	357,223	△50,102	△14.0
労働費	319,806	332,428	△12,622	△3.8
農林水産費	91,073	183,637	△92,564	△50.4
商工費	411,108	408,769	2,339	0.6
土木費	2,263,553	1,416,054	847,499	59.8
消防費	115,448	130,921	△15,473	△11.8
教育費	809,124	687,525	121,599	17.7
公債費	1,608,813	1,666,492	△57,679	△3.5
給与費	3,626,877	3,593,929	32,948	0.9
予備費	20,000	20,000	0	—
災害復旧費		13,915	△13,915	皆減
歳出合計	14,276,000	13,345,000	931,000	7.0

ふるさとづくり 新年度予算スタート

平成元年度事業のあらまし

環境整備

○公共下水道事業 十六億八千九百万円(事業費のみ)

来年、高土町、中央町、新川町など、一部地域で供用開始となるこの事業。今年度は、日量六千七百五十トンの処理能力を充

ソフトボールなどのできるグラウンドをつくるほか、園路舗装も行います。

○町名標示板設置費 百万円。

皆さんから要望の強い町名標示板五百三十八枚を設置します。

○清掃工場焼却炉補修事業 七千九百八十万円

焼却炉内部のレンガ積替えを

の改修、屋根のふき替え、外壁の塗装工事などが行われます。

○各公共施設営繕事業 七千九百六十万円

施設が増加すると、それに従い修理などの営繕も増加します。

今年度は、老人憩の家、老人福祉センター、保育所、市民会館、給食センター、市民研修センタ

リ、各小中学校、幼稚園など

登別ビーチパークに通ずる道路・東町36号線(登別駅前郵便局(登別保育所)をコミュニティ道路として整備します。今年度は、用地買収や移転補償など。

○登別温泉地域総合整備事業 二千万円

観光都市登別のイメージアップ

市内小学校音楽教室、ニューミ

ニ、各種大会、健康まつりな

病院、年間行事などをコンパクトにまとめた市民利便帳を全戸に配付します。

○ヘルスパイオニアタウン事業 五百二十万円

厚生省の補助は前年度まででしたが、市では今年度も引き続き短期人間ドックの助成、各

種スポーツ大会、健康まつりな

りな



このほか、大舞場の舞祭室・炉前ホールの増築・改修に五百万円、幼児のフツ素塗布など満額保健対策に百五十七万円が組まれています。

〇登別ビーチパーク新設事業 四億二千八百万円
今春ついに着工となる登別ビーチパーク計画。第一期公園整備として、用地買収のほか、敷地造成、園路舗装、照明施設などの工事を行います。

〇東町36号線コミュニティ道路整備事業 六千六百万円

〇市民便利帳発行経費 二百四十万円
市の業務案内をメインに、当市の自然や史跡、名産物、救急

〇水道料金 六月の検針から3%分課税されます。また、家屋の新築などにかかる給水工事費については、四月から3%課税されます。

〇富浦地区面整理事業 二千七百九十万円（事業費のみ）
ほぼ造成の終わったこの事業。今年度は、排水整備や道路築造のほか、給水工事、消火栓2基の設置などを行います。

〇市道路線改良舗装事業 三億七千六百万円
富浦札内路線、カルルス路線など市道9路線の舗装改良を行います。中でも中登別10号線は、登別伊達時代村に関連する道路整備、本町東通り（幌別町4、6丁目）は幌別バイパスに絡む道路整備です。

〇市道舗装排水整備事業 三億三千七百万円
道路、排水などの軒先整備は市民要望の第一位。今年度は、市道の改良舗装を七十二本行うほか、幹線排水五本の整備を行います。

〇市道舗装排水整備事業 三億九百三十万円
幌別バイパスに絡む道々弁景幌別線西通り立体交差（幌別町1・2丁目）などの用地買収、移転補償を行います。

〇オロフレ荘使用料 宿泊料、食料、貸衣料など消費税にかかる負担については一律3%分を引き上げます。

〇公営住宅（緑ヶ丘団地）建替事業 二億四千九百四十万円
初の市営住宅建て替え事業。緑ヶ丘団地跡地に五階建て一棟二千戸を建設します。一階には老人世帯向けも建設予定。

〇道々改良受託事業 二億六千九百三十万円
幌別バイパスに絡む道々弁景幌別線西通り立体交差（幌別町1・2丁目）などの用地買収、移転補償を行います。

〇市道舗装排水整備事業 三億九百三十万円
幌別バイパスに絡む道々弁景幌別線西通り立体交差（幌別町1・2丁目）などの用地買収、移転補償を行います。

〇市道舗装排水整備事業 三億九百三十万円
幌別バイパスに絡む道々弁景幌別線西通り立体交差（幌別町1・2丁目）などの用地買収、移転補償を行います。

〇市道舗装排水整備事業 三億九百三十万円
幌別バイパスに絡む道々弁景幌別線西通り立体交差（幌別町1・2丁目）などの用地買収、移転補償を行います。

〇市道舗装排水整備事業 三億九百三十万円
幌別バイパスに絡む道々弁景幌別線西通り立体交差（幌別町1・2丁目）などの用地買収、移転補償を行います。

〇市道舗装排水整備事業 三億九百三十万円
幌別バイパスに絡む道々弁景幌別線西通り立体交差（幌別町1・2丁目）などの用地買収、移転補償を行います。

〇市道舗装排水整備事業 三億九百三十万円
幌別バイパスに絡む道々弁景幌別線西通り立体交差（幌別町1・2丁目）などの用地買収、移転補償を行います。

〇市道舗装排水整備事業 三億九百三十万円
幌別バイパスに絡む道々弁景幌別線西通り立体交差（幌別町1・2丁目）などの用地買収、移転補償を行います。

〇市道舗装排水整備事業 三億九百三十万円
幌別バイパスに絡む道々弁景幌別線西通り立体交差（幌別町1・2丁目）などの用地買収、移転補償を行います。

〇市道舗装排水整備事業 三億九百三十万円
幌別バイパスに絡む道々弁景幌別線西通り立体交差（幌別町1・2丁目）などの用地買収、移転補償を行います。

〇市道舗装排水整備事業 三億九百三十万円
幌別バイパスに絡む道々弁景幌別線西通り立体交差（幌別町1・2丁目）などの用地買収、移転補償を行います。

〇市道舗装排水整備事業 三億九百三十万円
幌別バイパスに絡む道々弁景幌別線西通り立体交差（幌別町1・2丁目）などの用地買収、移転補償を行います。

〇市道舗装排水整備事業 三億九百三十万円
幌別バイパスに絡む道々弁景幌別線西通り立体交差（幌別町1・2丁目）などの用地買収、移転補償を行います。

〇市道舗装排水整備事業 三億九百三十万円
幌別バイパスに絡む道々弁景幌別線西通り立体交差（幌別町1・2丁目）などの用地買収、移転補償を行います。

道路・河川

安全・教育文化

農林・水産業

その他

観光



〇登別漁港整備事業負担 三千四十万円
道が事業主体となり、漁港内の交通渋滞解消のための関連道（トンネル）を掘削するほか、港の護岸改修を行います。

〇なたり老人入浴サービス事業 百二十万円
六十五歳以上の在宅なたり老人を対象に特別養護老人ホーム緑風園で入浴サービスを行います。

〇なたり老人入浴サービス事業 百二十万円
六十五歳以上の在宅なたり老人を対象に特別養護老人ホーム緑風園で入浴サービスを行います。

〇なたり老人入浴サービス事業 百二十万円
六十五歳以上の在宅なたり老人を対象に特別養護老人ホーム緑風園で入浴サービスを行います。

〇なたり老人入浴サービス事業 百二十万円
六十五歳以上の在宅なたり老人を対象に特別養護老人ホーム緑風園で入浴サービスを行います。

〇なたり老人入浴サービス事業 百二十万円
六十五歳以上の在宅なたり老人を対象に特別養護老人ホーム緑風園で入浴サービスを行います。

更新手続きをお忘れなく

国民健康保険の被保険者証

現在お使いの被保険者証は、四月三十日で有効期限が切れて使用できなくなり、新しい被保険者証への更新は、次の日程で行いますので、旧被保険者証と印鑑持参のうえ、手続きをしてください。
また、保険税未納の方は、更新時までに早目に納付されるようお願いいたします。
なお、当日は会場で、保険税

＜保険証更新日程＞

月	日	曜日	時間	実施地区	実施場所
4	10	月	10時～16時	登別東町、登別本町、登別港町	登別公民館
	11	火		中登別町、札内町	
	12	水	11時～15時 10時～16時	カルルス町、上登別町 高浦町、幸町	オロフレ荘 漁業会館
	13	木	10時～16時	登別温泉町、上登別町、中登別町	登別温泉公民館
	14	金	10時～16時	栄町、富岸町、若山町、大和町	富浜児童館
	17	月	10時～16時		
	18	火	10時～16時	鷺別町、栄町	鷺別公民館
	19	水	10時～16時	美園町、上鷺別町	ひまわり園
	20	木	10時～16時		
	21	金	10時～16時	若草町、新生町、上鷺別町	優和園
24	月	10時～16時	同	上	千代の台集会所
25	火				
26	水	10時～16時	全地区		市役所第2庁舎 (旧中央公民館)
27	木				

の納税相談や健康相談を行っていますのでご利用ください。

▽問合せ先 課税課健康保険係 (TEL 52111)

就学援助の申請はお済みですか

市教育委員会では、平成元年度も経済的に困りのご家庭の小学生、中学生のために、就学援助を行います。
まだ申請書を提出していない方は、申請書(用紙は学校にあります)に記入のうえ、必要を

見かけたら心よく「電話お願い手帳」

皆さんは「電話お願い手帳」をご存知でしょうか。

「一ページ目をめくると「おそれいりますが、私は耳・言葉が不自由なため電話がかけられません。私のかわりに電話をしてください。」で始まるこの手帳は、「耳の日」にちなんでNTT

証明書などを添えて在学する学校に提出してください。
▽問合せ先 学校または市教育委員会 (TEL 81100)

社会保険事務相談所を開設します

室蘭社会保険事務所では、厚生年金や国民年金、健康保険などの社会保険制度について、住民のご理解を深めていただく

開設します

め、次のとおり「社会保険事務所相談所」を開設します。

▽日時 4月20日(木) 午前10時～午後3時
▽場所 登別商工会議所
▽問合せ先 室蘭社会保険事務所 (TEL 01431241710)



労働保険の年度更新手続きはお早目に

室蘭労働基準監督署では、労働保険(労災保険と雇用保険)の六十三年度確定保険料および平成元年度概算保険料の申告・納付の手続きを受付けています。

自動車を

お持ちの方へ

- 車を買ったり、譲ったりして自分の手許からはなれるとき。
- 車を現金で買ったとき、割賦の支払いをおわったとき、他人から譲り受けたとき等で自分の名前に変更するとき。
- 車を使用しなくなって廃車するとき。
- 引っ越し、転勤等で住所が変わったとき。

以上の事由があったときは、最寄りの管轄する陸運支局で、手続きをお忘れなく。
※詳しいことは、北海道運輸局 室蘭陸運支局(室蘭市日の出町

一若草中央公園一

テニスコートを 使用される方へ

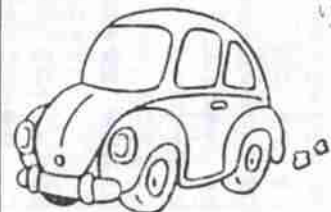
市では、若草中央公園内の全天候型テニスコートを、市民の方に開放しています。

ただし、サークル(10名以上)活動で使用される団体は、次のとおり事前の申し込みが必要です。

- ▷提出書類 サークル名(代表者名) 会員名簿(氏名・住所・生年月日) 活動状況
 - ▷申込み締切り 4月15日(土)まで
 - ▷申込み・問合せ先 都市計画課公園緑地係 (TEL 52111)
- ※コートの使用は、登別にお住まいの方に限られます。

春は粉じんの舞う季節?

＜スパイクタイヤ自粛期間＞
4月10日～11月10日



3丁目4番9号/TEL 014314414026へお問い合わせください。

余暇を有意義に活用しませんか

登別市老人大学

市教育委員会では、高齢者のみなさんの余暇を有意義に活用していただくため、老人大学生を募集しています。お気軽にご参加ください。

▽学習内容 現代社会の動き、若い世代の理解、健康の維持、大学祭、見学旅行など
▽対象 市内に居住される60歳以上の方

会教育課(TEL⑧1100)へ4月12日(水)まで申し込みください。
※現在、老人大学に在籍している方は、申し込みの必要はありません。



登別市歌謡協会 会員を募集

登別市歌謡協会では、カラオケを愛好している方を対象に次のとおり会員を募集します。お気軽にご入会ください。
▽対象 市内に居住、または通勤している方
▽会費 500円(年間)
▽申込み・問合せ先 渡部良子さん(TEL⑤3031)

見学旅行・英会話など学習

婦人短期大学

市教育委員会では、婦人の教養を高め生きがいのある人生を歩んでいただくため、本年度も引き続き婦人短期大学の新生入学生を募集しています。お気軽にご参加ください。

▽対象 市内に居住する婦人
▽開設期間 5月11月(2年間)
▽場所 市民会館
▽受講料 無料
▽教材費 必要に応じてその都

入学前の説明会を開催
▽日時 5月8日(月)午後1時から
▽場所 市民会館



ヤッタ!ギネス新記録だ!

青葉小児童が長縄跳びで185回の快記録達成

登別市立青葉小学校の児童が、3月12日、テレビ番組「ギネスに挑戦」の長縄跳び(男女90名)で、連続185回跳び新記録を達成しました。おめでとうございます。ちなみに、これまでの記録は160回でした。この模様は、次のとおりテレビで放映されます。ご家族でぜひご覧ください。

放映日

▷4月13日(木)午後7時~9時・UHB

国体ホット情報

No.3

200日前 記念イベント盛大に!!

国体成功市民の会では、三月十六日、二〇〇日前イベントとして、鬼火リレーと北の賛歌コンサートを行いました。当日、約千三百名の市民の方々が参加し、盛大に終えることができました。市民ランナーの方をはじめ、参加していただいた皆さんどうもありがとうございました。

鬼火リレー フロントイ君も応援



北の賛歌コンサート



新着図書案内

市立図書館 TEL⑤4324



パンドラケース(高橋克彦) ぼちぼち草子(田辺聖子) 霧のレクイエム(阿刀田高) 禁止空間(増田みず子) 幸福な朝食(乃南アサ) たかが江川されど江川(江川卓) 生還(石原慎太郎) マンボウ酔族(北杜夫) 湖の子たちの夏(福本武久) アダージョの恋(高橋洋子) 美味しんぼ探偵局(雁屋哲) 幕末純情伝(つかこうへい) 若いあなたへ(千葉敦子) 東京ダウンタウン(小林トモ) 愛をありがとう(中村のり子) イノセントガール(堀田あけみ) 夕焼け少年(嵐山光三郎) 太平放送24時(かんべむさし) 植物性恋愛(松本侑子) 噴水(中沢けい) 牙子(東京物語) 永室(牙子) ごきげんようお嬢さん(水野綾子) チョルムニ(戸田郁子) 働く女性の子育て論(田中嘉美子) 7つの国境(増井和子) 時の筏(加藤幸子) 薄野まで(八柳鐵郎) 女のいる情景(池田満寿夫) バアバちゃん(土地) 曾野綾子(インク壺) 増田れい子(木に字へ(西岡常一))

シャトル舞う熱き感動湯の里に



はまなす国体

登別市バドミントン競技

秋季大会まであと169日



■競技会場 日本工学院北海道専門学校体育館 ■大会期間 平成元年9月18日～21日

市民啓蒙

ふれあう心の合言葉

一、未来をつくる青少年の、健全な夢の育つまちをつくりましょう。

みんなで考えよう 男女平等

■ 婦人週間 ■ 四月十日～十六日

「女性の能力や役割についての固定的な考え方を見直そう」をテーマに、今年も「婦人週間」が四月十日からスタートします。

女性の一票が初めて投じられた日

婦人週間は、わが国の女性が初めて参政権行使した昭和二十一年四月十日を記念して、昭和二十四年に設けられ、婦人の地位の向上のために特別啓発活動を実施しています。この間、「女性の社会参加」「婦人労働

に対する理解」を深めるためのテーマをそのつど定め、啓発広報活動を続けてきました。

昭和六十一年四月には「男女雇用機会均等法」が施行され、女性の職場進出と働く女性の役割を、法律面からも保証・評価する足掛かりができました。

男女の協力で 社会を支えよう

今年も、メインテーマの趣旨をわかりやすくするため、キャッチフレーズとして、「女が変

乳がん検診

日本女性に乳がんは少ないといわれてきましたが、生活様式の欧米化につれて、しだいに増加しています。

乳がんの症状が一番多いのはシコリですが、小さいうちは気づかなかつたりします。この機会に受診し、健康を確かめましょう。

▽検診実施機関 北海道対がん協会

▽対象者 満30歳以上の方

▽検診日 5月10日(水)

▽会場 労働福祉センター

▽当日の受付時間
午前：9時～9時20分
午後：0時40分～1時

▽定員 午前：60名、午後：40名

▽検診料 千五百円(精密検査となった方は、保険診療となり、さらに千五百円～三千元程度がかかります)

▽持参するもの 検診料、保険証、風呂敷

▽申込み受付開始 4月10日(月)午前9時から(開始以前は受け付けません)

●次に該当する方は無料となります。申し込みの際、申し出てください。

- 70歳以上の方
- 生活保護世帯の方
- 市民税非課税世帯の方

わる 男が変わる 社会が変わる」が採用されました。

社会を支えるのは、男と女の両性です。この点を、お互いしっかりと認識しようという発想です。

こうした考え方が社会に行き渡るなら、「男女雇用機会均等法」も、スムーズに社会の慣習として生かされるはずですよ。



▽日程・会場・対象地区
●4月28日(金)：鉄南ふれあいセンター(幌別・登別・登別温泉地区)

▽受付時間 正午～0時15分

▽対象児 昭和64年および平成元年1月出生児

▽用意するもの 母子健康手帳、バスタオル

※神経芽細胞腫(小児がんの一種)の検査セットを同時に配付します。

登別、登別温泉地区は今月から会場が鉄南ふれあいセンターとなりますので、ご注意ください。

なお、幌別地区については、5月1日号でお知らせします。

献血にご協力を

▽申込み・問合せ先 保健衛生課(TEL52111)

▽内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導

3カ月検診

次の日程で街頭での献血を行います。皆さんのご協力をお願いします。

▽日時・場所 4月11日(火)
午前9時30分～11時30分/登別市役所。午後1時～4時30分/ホームストア幌別店

不用品ダイヤル市



⑤2111

おわけします(売り)

下駄箱、ダブルベッド、学習机(スチール製いす付)、ベビーベッド、CDプレーヤー、洗たく器、スキー用具一式(板173cm、金具、ストック、くつ26.5cm)、オルガン、石油ストーブ(反射式)、夏タイヤ(645-13)

ゆずってください(買い)

二段ベッド、長いす、子供用鉄棒、子供用すべり台、ベビーカー、自転車(大人用)、スケート(ハーフ23cm・スピード22～24cm)、オルガン、スパイクタイヤ(165-13)、将棋盤(厚手のもの)

なくそう交通戦争 防ごう交通事故

▶春の交通安全運動4月6日～15日◀

四月六日から十五日までの十日間、「春の交通安全運動」が実施されます。

この運動の重点目標は、次のとおりです。

- 子供とお年寄りの交通事故防止。
- 若年運転者による無謀運転の防止。
- 正しい方法によるシートベルトの着用の徹底。

